

## 施策評価調書

## 1 施策の概要

(1)	施策名	青少年を育てる家庭・地域づくり					
(2)	総合計画の体系	第 4 章	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
		第 1 節	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり				
		第 60 細節	青少年を育てる家庭・地域づくり				
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		56,060	58,467	61,157	
		従事職員数		3.30 人	3.60 人	3.60 人	
		所要人件費(B)		26,228	29,913	29,413	
		総事業費(A+B)		82,288	88,380	90,570	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	0	0	0
				その他	122	133	139
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	82,166			88,247	90,431		

## 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	教育コミュニティ形成のための諸活動	目標値 (単位:校区)	18.00	18.00	18.00
		実績値 (単位:校区)	18.00	18.00	
目標値の積算方法	市内の中学校区の地域教育協議会	達成度(%)	100.0	100.0	
指標内容	「さわやか元気キャンプ」参加者数	目標値 (単位:人)	60.00	60.00	60.00
		実績値 (単位:人)	27.00	30.00	
目標値の積算方法	募集定員(3回×30人)平成26年度より2回実施のため(2回×30人)に変更	達成度(%)	45.0	50.0	

## 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

地域教育コミュニティ事業など、地域の力を借りて実施する事業や、また、地域の方々が安心して活動できるための保険加入、不登校児童生徒対象のキャンプなど、今日的な課題に取り組むための本市の独自事業が多く、今後も継続して実施すべきと考える。

平成28年度から青少年問題協議会事業を補助執行によりこども部から事業の移管を受けている。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	地区青少年健全育成事業への助成事業	青少年室	00993	全部	大	20	20	16	20	18	94	継続
2	山の学校・海の学校事業	青少年室	00998	全部	大	20	18	20	18	18	94	継続
3	青少年活動サポートプラザ青少年相談事業	青少年室	01007	全部	大	18	18	18	18	18	90	継続
4	地域教育コミュニティ事業	青少年室	01377	全部	大	14	18	16	18	18	84	継続
5	青少年問題協議会事業	青少年室	00258	なし	大	14	14	14	18	18	78	継続
6	青少年健全育成保険加入等事業	青少年室	00995	全部	大	14	16	12	18	16	76	継続
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		各視点からの評価とは別に、地域の力を借りて行うもの、今日的な課題に取り組むものを優先に順位を決定したが、どれも青少年施策にとっては必要な事業であると考えます。なお、少年自然の家利用補助事業は平成26年度の一学期限りで廃止しました。										